

で、31施設を対象としてスプリンクラー設置の予算化をしたが、設置者側の事情により予算執行したのは19施設。22年度も事業を実施し、設置が義務付けられた全施設への設置を支援していく。

委員 設置者側の事情とはいえ、せつかくの意義ある予算が執行されなかったのは残念だ。22年度も引き続き働きかけてほしい。

また、消防法でスプリンクラーの設置が義務付けられていない床面積275㎡未満のグループホームは、火災時の対策などの現状把握ができているのか。

市 消火器、火災警報器の設置状況など、現況を消防局へも照会し早急な実態把握に努めたい。

環境消防水道委員会

■草の無料収集及び5リットル袋の作成

委員 草の収集無料化を試行してはどうか。また、10リットルのごみ袋では大きすぎる家庭もある。5リットル袋を作成しては。

市 草の収集無料化、5リットル袋の作成については試行も踏まえ、前向きに検討する。

■地域主体による生物多様性の保全を推進する条例の制定

—「地域主体による生物多様性の保全を推進する条例」案が委員から提案された。この条例案について協議した結果、条例案作成手順、内容について熟度が足りないという一部委員から反対意見はあったが、本委員会の委員を中心とする有志の議員により本条例案を本会議に提案することを決定した—

経済委員会

■本市における観光の取り組み

委員 地域住民がよいと思えば口伝えで広がっていく。情報発信事業は数多くあるが、これほど強い宣伝効果があるものはない。また、吉備路の関係で言えば、古代吉備の歴史を明らかにし、文化財課と連携してPRをしていく必要があるのでは。

市 自分たちが住んでいる岡山を再発見、再認識しようという取り組みを進めている。地元の人に岡山の売りを認識してもらった上で、さらに県外、海外にもPRをしていきたい。

また、ストーリー性やテーマ性を持って吉備路をPRすることにより、市民に認知してもらうだけでなく、観光客誘致にも努めていきたい。

委員 面白いもの、おいしそうなのがなければ観光客は訪れ



ないという認識に立ち、さまざまな知恵を出していくのが観光の仕掛けだ。今回の予算編成は細切れであり、もう少し、事業の選択と集中をした予算編成をしたほうがいいのではないか。

建設委員会

■赤字バス路線への支援

委員 赤字バス路線に補助金を出すことについては市が判断す

るのか。

市 補助金は国の判断で決められており、県・市が協調して補助している。

委員 市内のバス路線には、赤字を理由に廃止している路線もあり、国の決定を待っていたのでは遅い場合もある。市独自で、何らかの形で路線を維持することが検討できないか。

市 現在、国で交通基本法を策定中であり、その動向を見据えながら、市としてどういうやり方がよいのか検討している。

市民文教委員会

■西大寺「元気な新拠点（カネボウ跡地）」整備事業

—西大寺「元気な新拠点」民間活用エリアで公募による提案事業を実施し、地域拠点形成、日常生活利便性の向上、西大寺地域中心市街地の活性化を図る—

委員 市東部と東備地域の拠点にすることを視野に入れていかないと東区の発展はなかなか望めない。どうやって回遊性を高め、点から面への賑わいの創出を図るのか。

市 西大寺のまちなかには映画のロケ地になった場所があるが、このような見せ場をあと数カ所仕掛けていく必要がある。

—採決に当たり委員から、早急に市民説明会を開いて、地域の理解を得るよう、また、事業者と交渉をしていく過程で疑念が生じないように、議会に対しても説明責任を果たすよう要望があった—